

第94期ヒューリック杯
棋聖戦五番勝負第三局

令和5年
7月3日

百手先も一手から。

沼津御用邸記念公園
東附属邸第一学問所



棋聖
藤井聡太



挑戦者
佐々木大地

沼津における棋聖戦のあゆみ

期・局	開催日	会場	勝敗	
			棋聖	挑戦者
第84期 第三局	2013.7.6	沼津倶楽部	羽生善治棋聖 ● - ○ 渡辺明竜王	
第85期 第三局	2014.7.5		羽生善治棋聖 ○ - ● 森内俊之竜王	
第86期 第三局	2015.7.4		羽生善治棋聖 ○ - ● 豊島将之七段	
第87期 第三局	2016.7.2		羽生善治棋聖 ● - ○ 永瀬拓矢六段	
第88期 第三局	2017.7.1		羽生善治棋聖 ● - ○ 齋藤慎太郎七段	
第89期 第三局	2018.6.30		羽生善治棋聖 ● - ○ 豊島将之八段	
第90期 第三局	2019.6.29		豊島将之棋聖 ● - ○ 渡辺明二冠	
第91期	※	東京・大阪	藤井聡太七段が初タイトル獲得	
第92期 第三局	2021.7.3	沼津御用邸 東附属邸 第一学問所	藤井聡太棋聖 ○ - ● 渡辺明名人	
第93期 第五局	-		第四局で決着のため実施されず	
第94期 第三局	2023.7.3		藤井聡太棋聖 - 佐々木大地七段	

※第91期は新型コロナウイルス感染拡大のため東京・大阪のみでの開催
※タイトル・段位は当時のもの

プロが認める沼津の誇り

棋 聖戦が沼津で開催されるようになったのは2013年の第84期第三局から。千本郷林にある沼津倶楽部で、羽生善治棋聖が渡辺明竜王を迎え撃った一番でした。第一局・第二局では羽生棋聖が連勝し、タイトルが決まるかと思われましたが、渡辺竜王が意地を見せ、星を取り返すこととなります。

以降も沼津倶楽部を舞台に数々の熱戦が繰り広げられてきました。

これまでの戦績を見ると、沼津は比較的挑戦者に相性のいい舞台となっており、棋聖のタイトルのゆくえを左右してきました。

第92期からは沼津御用邸記念公園東附属邸第一学問所に舞台を移します。一昨年、渡辺明名人を迎え撃った藤井聡太棋聖は、対戦の前に「非常に静かな雰囲気、素晴らしいところだと感じました。」

若き両雄が盤上で激突

パ チツと響く将棋の駒。しびれるような駆け引きと手に汗握る展開が繰り広げられるプロ棋士の熱戦。将棋界における、竜王・名人・王位・叡王・王座・棋王・王将・棋聖は8大タイトルとして知られています。

現役のタイトル保持者とトーナメントを勝ち上がった挑戦者がしのぎを削る「棋聖戦」は五番勝負で棋聖のタイトルを争います。

沼津市制100周年の当日を迎えてすぐ、本年7月3日に第94期ヒューリック杯棋聖戦五番勝負第三局が、沼津御用邸記念公園東附属邸第一学問所で開催されることとなりました。しかも第三局となると第一局・第二局の結果次第では、棋聖が決する大一番となる可能性もある注目の対局といつて過言ではありません。



タイトル防衛を目指すのは、デビューから29連勝を記録し、数々の最年少記録を塗り替えてきた藤井聡太棋聖。

じました。素晴らしい対局場を用意していただいた関係者の皆さまに御礼申し上げます。それにふさわしい熱戦を展開できるように頑張りたいと思います」と意気込みました。

一方の渡辺名人も「過去に2回、対局で沼津を訪れましたが、こちらの対局場は初めてです。部屋の広さなど、申し分のない会場だと思います」と評価しました。

今年の棋聖戦は、昨年は沼津での対局が実施されなかったこともあり、藤井棋聖にとっては2年ぶり、挑戦者の佐々木大地七段は初めて東附属邸第一学問所で対局することになります。東附属邸は、茶道や華道、着付け、俳句等の研修室として利用できるほか、結婚式や写真撮影、お食事会等の会場としても利用されています。私たち市民にとっても親しみがあり、沼津が誇る風情豊かな場所、熱い戦いが展開されることを期待しましょう。

風光明媚な沼津で対局を

百 周年の記念すべき年に、「棋聖戦を再び沼津に」との想いから、招致活動に尽力したのは、日本将棋連盟沼津支部の皆さんです。

1963年に9人の将棋好きから発足した沼津支部は、会員数100人を超え、全国にある支部の中でも有数の規模を誇っています。支部の人数が多いことからわかるように、沼津は将

どんな戦型でも受けて立つ王道スタイルでいくつものタイトルを積み重ねています。

挑戦者は、自身初のタイトル獲得に挑む佐々木大地七段。目下15連勝中(※対局決定時)と勢いがあり、将棋界では「いつタイトル戦に出てきてもおかしくない」と評価されてきました。



第94期棋聖戦は、第一局をベトナムで、第二局を兵庫県洲本市のホテルニューアワジで開催したあと、わたしたちのまち沼津にやってきました。



第92期棋聖戦の際に、藤井棋聖(右)と渡辺名人が揮毫した扇子は沼津御用邸記念公園で見学することができます。

棋ファンが多い土地柄だそうです。

今でこそ、棋聖戦と沼津は深いつながりがありますが、棋聖戦の開催は約束されたものではありません。

第94期の招致活動では、頼重市長も一緒に主催者を訪ね、沼津の魅力を積極的にプレゼンテーションしたそうです。沼津支部の多々さんと岡村さんは「将棋の戦法で言うところの(棒銀)みたいな、どちらかというと攻めの招致活動がよかったのかな」と笑います。

決め手となったのは、「沼津御用邸という歴史ある場所に加えて、これまで沼津で棋聖戦を開催した際に、まちを挙げて棋士を歓迎してきたという実績も評価していただいたのではないだろうか」と振り返ってくれました。

沼津支部の皆さんは、開催決定の一報が届いた際には、歓喜と安堵の想いを持つと同時に、風光明媚な沼津の景色に改めて感謝したそうです。

歴史ある棋聖戦の開催地にふさわしいと認められる沼津の魅力に、改めて気付かされるエピソードです。



招致活動に奔走した日本将棋連盟沼津支部の多々さん(左)と岡村さん